

米飯給食に緊急支援金 県JAグループが1360万円

コメ高騰

県JAグループは8日、昨今の米価高騰が学校の給食費を圧迫し、米飯給食回数の削減が検討されている状況を鑑み、県学校給食会に1360万円の緊急支援金を贈呈した。県学校給食会が県産玄米を購入する経費の一部を支援する。毎年

実施する通常の支援とは別に緊急支援を行うのは、今回が初めて。
贈呈式は岐阜市宇佐南の県JA会館であり、JA岐阜中央会の櫻井宏会長が県学校給食会の永治友見理事長に目録を贈呈した。櫻井会長は「米飯給食がなくなってしまうことを危惧している。米飯給食を継続してもらい、子どもたちには小さい頃から国産米をたくさん食べてもらいたい」と話した。



緊急支援金の目録を手渡した
櫻井宏会長(左から2人目)ら
岐阜市宇佐南、県JA会館